

Title	和田博徳先生業績分類目録
Sub Title	Catalog of the writings of Professor Hironori Wada
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	2009
Jtitle	史学 (The historical science). Vol.77, No.4 (2009. 3) ,p.94(462)- 101(469)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-20090300-0094

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

和田博徳先生業績分類目録

編纂に当たっては先生御自身が編まれた「和田博徳先生業績目録」(『明清時代の法と社会』汲古書院、一九九三年、所収)を基本とし、山本の判断によって増補改訂したうえで改めて項目分類を施した。なお、頁数の表記がないものはこのたびは確認しえなかつたものである。

【編著】

- ・ BOOKS AND ARTICLES ON ORIENTAL SUBJECTS PUBLISHED IN JAPAN DURING 1954. TÔHÔ GAK-KAI. 1955 [共編] 全四一頁
- ・ BOOKS AND ARTICLES ON ORIENTAL SUBJECTS PUBLISHED IN JAPAN DURING 1955. TÔHÔ GAK-KAI. 1956 [共編] 全五〇頁
- ・ BOOKS AND ARTICLES ON ORIENTAL SUBJECTS PUBLISHED IN JAPAN DURING 1956. TÔHÔ GAK-KAI. 1957 [共編] 全四九頁
- ・ BOOKS AND ARTICLES ON ORIENTAL SUBJECTS PUBLISHED IN JAPAN DURING 1957. TÔHÔ GAK-KAI. 1958 [共編] 全四九頁
- ・ BIBLIOGRAPHIE DE L'ORIENTALISME JAPONAIS 1956. Redigee par la Societe France-Japonaise des Etudes Orientales sous la direction de Ishida Milkino-suke, Tkyo Maison Franco-Japonaise, 1960
- ・ BOOKS AND ARTICLES ON ORIENTAL SUBJECTS PUBLISHED IN JAPAN DURING 1958. TÔHÔ GAK-KAI. 1961 [共編] 全六九頁
- ・ BOOKS AND ARTICLES ON ORIENTAL SUBJECTS PUBLISHED IN JAPAN DURING 1959. TÔHÔ GAK-KAI. 1962 [共編] 全七三頁
- ・ BOOKS AND ARTICLES ON ORIENTAL SUBJECTS PUBLISHED IN JAPAN DURING 1960. vol. 7, THE TÔHÔ GAKKAI. 1962 [共編] 全九六頁
- ・ BOOKS AND ARTICLES ON ORIENTAL SUBJECTS PUBLISHED IN JAPAN DURING 1961. vol. 8, THE TÔHÔ GAKKAI. 1963 [共編] 全一一四頁
- ・ BOOKS AND ARTICLES ON ORIENTAL SUBJECTS PUBLISHED IN JAPAN DURING 1962. vol. 9, THE TÔHÔ GAKKAI. 1964 [共編] 全一一八頁
- ・ BOOKS AND ARTICLES ON ORIENTAL SUBJECTS

- PUBLISHED IN JAPAN DURING 1963. vol. 10, THE
TÔHÔ GAKKAI. 1965 [共編] 全一一二頁
- BOOKS AND ARTICLES ON ORIENTAL SUBJECTS
PUBLISHED IN JAPAN DURING 1964. vol. 11, THE
TÔHÔ GAKKAI. 1966 [共編] 全一六〇頁
- BOOKS AND ARTICLES ON ORIENTAL SUBJECTS
PUBLISHED IN JAPAN DURING 1965. vol. 12, THE
TÔHÔ GAKKAI. 1967 [共編] 全一八四頁
- BOOKS AND ARTICLES ON ORIENTAL SUBJECTS
PUBLISHED IN JAPAN DURING 1966. vol. 13, THE
TÔHÔ GAKKAI. 1968 [共編] 全一一〇頁
- BOOKS AND ARTICLES ON ORIENTAL SUBJECTS
PUBLISHED IN JAPAN DURING 1967. vol. 14, THE
TÔHÔ GAKKAI. 1969 [共編] 全一二三頁
- BOOKS AND ARTICLES ON ORIENTAL SUBJECTS
PUBLISHED IN JAPAN DURING 1968. vol. 15, THE
TÔHÔ GAKKAI. 1970 [共編] 全一一八頁
- BOOKS AND ARTICLES ON ORIENTAL SUBJECTS
PUBLISHED IN JAPAN DURING 1969. vol. 16, THE
TÔHÔ GAKKAI. 1971 [共編] 全一一一頁
- BOOKS AND ARTICLES ON ORIENTAL SUBJECTS
PUBLISHED IN JAPAN DURING 1970. vol. 17, THE
TÔHÔ GAKKAI. 1972 [共編] 全一一九頁
- BOOKS AND ARTICLES ON ORIENTAL SUBJECTS
PUBLISHED IN JAPAN DURING 1971. vol. 18, THE
TÔHÔ GAKKAI. 1973 [共編] 全一一三頁
- BOOKS AND ARTICLES ON ORIENTAL SUBJECTS
PUBLISHED IN JAPAN DURING 1972. vol. 19, THE
TÔHÔ GAKKAI. 1974 [共編] 全一二四頁
- BOOKS AND ARTICLES ON ORIENTAL SUBJECTS
PUBLISHED IN JAPAN DURING 1973. vol. 20, THE
TÔHÔ GAKKAI. 1975 [共編] 全一一六頁
- BOOKS AND ARTICLES ON ORIENTAL SUBJECTS
PUBLISHED IN JAPAN DURING 1974. vol. 21, THE
TÔHÔ GAKKAI. 1976 [共編] 全一一五頁
- BOOKS AND ARTICLES ON ORIENTAL SUBJECTS
PUBLISHED IN JAPAN DURING 1975. vol. 22, THE
TÔHÔ GAKKAI. 1977 [共編] 全一一六頁
- BOOKS AND ARTICLES ON ORIENTAL SUBJECTS
PUBLISHED IN JAPAN DURING 1976. vol. 23, THE
TÔHÔ GAKKAI. 1978 [共編] 全一一七頁
- 『ネトナム民族小史』(松本信広著) 岩波書店、一九六

- 九年、「共著」一三〇一六章（一一九〇一六五頁）
- 『東洋史』慶應通信、一九七一年、「共著」一一〇一六章（九〇〇一五三頁）
- 『明代経世文分類目録』財団法人東洋文庫、一九八六年、「共編」全二八〇頁

【論文】

- 「百済の遼西領有説について」『史学』二五卷一号、一九五二年、九〇〇一〇〇頁
- 「吐谷渾と南北兩朝との關係について」『史学』二五卷二号、一九五一年、八〇〇一〇四頁
- 「神功皇后紀の倭女王注記について」『史学雑誌』六二編一号、一九五三年、五三〇六五頁
- 「西天阿難功德国と甘巴里国—明と Vijayanagar との交渉」『史学』二八卷三・四合併号、一九五六年、二二〇三九頁
- 「明代の鉄砲伝来とオスマン帝国—神器譜と西域土地人物略—」『史学』三一卷合併号、一九五八年、六九二〇七一九頁
- 「嘉慶十三年イギリスの澳門占拠とヴェトナム」『和田博士古稀記念東洋史論叢』講談社、一九六一年、一〇

- 六三〇一〇七六頁
- 「清代のヴェトナム・ビルマ銀」『史学』三三卷三・四合併号、一九六一年、一一九〇一三八頁
- 「国朝柔遠記の卷十九・二十について—『海国聞見録』及び『瀛海論』との關係—」『岩井博士古稀記念典籍論集』東洋文庫、一九六三年、八二二〇八三〇頁
- 「アジアの近代化と慶應義塾—ベトナムの東京義塾・中国の梁啓超その他について—」『慶應義塾大学商学部創立十周年記念日吉論文集』一九六七年、五〇一九頁
- 「福澤諭吉の『清英交際始末』とアロー戦争・太平天国」『史学』四〇卷二・三合併号、一九六七年、四三〇六〇頁
- 「越南輯略について—中国人の東南アジア知識と清仏戦争—」『史学』四四卷四号、一九七二年、一〇二二頁
- 「阮朝中期の清との關係（一八四〇—一八八五）—アヘン戦争から清仏戦争まで—」山本達郎編『ベトナム中国關係史—曲氏の抬頭から清仏戦争まで』山川出版社、一九七五年、五五〇一六〇〇頁
- 「明代における二つの阿丹国—アラビアのアデンと東

トルキスタンのホータン―』『史学』四九卷四号、一九八〇年、一一九―一二五頁

・「里甲制と里社壇・郷厲壇―明代の郷村支配と祭祀―」『西と東と―前嶋信次先生追討論文集―』（慶應義塾大学東洋史研究室編）汲古書院、一九八五年、四一三―四三三頁

・「明代の匠官と士大夫官僚―工匠出身官僚の輩出とその意義―」『東方學會創立四十周年記念東方學論集』東方学会、一九八七年、九三三―九五二頁

・「明末の承天府における民変―『郢事紀略』について―」『創価大学人文論集』一号、一九八九年、一二二―一五六頁

・「明代の科挙と会試考官」『創立二十五周年記念論文集』創価大学、一九九五年、三六三―三七二頁

・「西域土地人物図について―一六世紀のシルクロード地図―」『シルクロード研究』二号、二〇〇〇年、一―二〇頁

【学界動向】

・「戦後における我が東洋学界の概況」『東方学』一輯、一九五二年、一一八―一二二頁

・「最近半年余に於ける我が東洋学界の概況」『東方学』二輯、一九五二年、九七―一〇一頁

・「我が東洋学界の近況」『東方学』三輯、一九五二年、八八―九五頁

・「我が東洋学界の近況」『東方学』四輯、一九五二年、九三―一〇三頁

・「我が東洋学界の近況」『東方学』五輯、一九五二年、九三―一〇三頁

・「我が東洋学界の近況」『東方学』六輯、一九五三年、一三三―一四二頁

・「我が東洋学界の近況」『東方学』七輯、一九五三年、一三三―一三三頁

・「我が東洋学界の近況」『東方学』八輯、一九五四年、一三三―一四〇頁

・「我が東洋学界の近況」『東方学』九輯、一九五四年、一二八―一三四頁

・「我が東洋学界の近況」『東方学』一〇輯、一九五五年、一四五―一五五頁

・「我が東洋学界の近況（一一）」『東方学』一一輯、一九五五年、一一六―一二六頁

・「我が東洋学界の近況（一二）」『東方学』一二輯、一

- ・九五六年、一二二〜一三〇頁
- ・「我が東洋学界の近況(一二三)」『東方学』一三輯、一九五七年、八三〜九二頁
- ・「我が東洋学界の近況(一四)」『東方学』一四輯、一九五七年、一〇八〜一一四頁
- ・「我が東洋学界の近況(一五)」『東方学』一五輯、一九五七年、六七〜七二頁
- ・「我が東洋学界の近況(一六)」『東方学』一六輯、一九五八年、一〇五〜一一一頁
- ・「一九六〇年度の東南アジア史学界」『史学雑誌』七〇編五号、一九六一年、一五六〜一六〇頁
- ・「慶応大学の東南アジア史研究」『東南アジア—歴史と文化—』一号、一九七一年、一六一頁

【書評】

- ・「国立台湾大学『文史哲学報』第一期」『史学』二四卷四号、一九五二年、一三九〜一四二頁
- ・「勞榦著『居延漢簡考釈』」『史学』二五卷二号、一九五一年、一二二〜一二三頁
- ・「『東方学』第一輯・第二輯」『史学』二五卷三号、一九五二年、一七三〜一七五頁

- ・「許大齡著『清代捐納制度』」『史学』二五卷三号、一九五二年、一七六〜一七七頁
- ・「加藤繁著『支那經濟史考証』上卷」『史学』二五卷四号、一九五二年、一一一〜一一三頁
- ・「藤田亮策著『朝鮮の歴史』」『史学』二六卷三・四合併号、一九五三年、一五六〜一五七頁
- ・「加藤繁著『支那經濟史考証』下卷」『史学』二七卷一、二号、一九五三年、九四〜九七頁
- ・「山崎宏編『中国の社会と宗教』」『史学雑誌』六三編一、二号、八三〜八七頁
- ・「前嶋信次訳『イブン・バットゥータ三大陸周遊記』」『史学』二八卷一号、一九五五年、一三〇〜一三二頁
- ・「三橋富治男著『東洋文明の史的系譜』」『史学』二八卷二号、一九五五年、一三七〜一三八頁
- ・「ルネ・グルツセ著・前嶋信次訳『アジア史』」『史学』二八卷二号、一九五五年、一三七〜一三八頁
- ・「南方史研究会編『南方史研究I』」『史学雑誌』六九編一〇号、一九六〇年、七〇〜七四頁
- ・「有馬成甫著『火砲の起原とその伝流』」『週刊読書人』四二九号(一九六二年六月一日) 四頁
- ・「張朋園著『梁啓超与清季革命』」『史学』二八卷三号、

一九六五年、一二五～一二七頁

・「三橋富治男著『オスマンⅡトルコ史論』『史学』四〇巻四号、一九六八年、一四五頁

・「間野潜龍著『明代文化史研究』『史学雑誌』八九編八号、一九八〇年、八六～九二頁

・「濱島敦俊著『明末東南沿海諸省の牢獄』『法制史研究』三五、一九八五年、三三八～三四二頁

【其他】

・「神功皇后と倭女王卑彌呼」『朝鮮学会会報』一三三号、一九五二年、三～四頁

・「福澤先生の処女出版『増訂華英通語』の原本」『三色旗』一六九号、一九六二年、五頁

・「中国における福澤諭吉の影響」『福澤諭吉全集』岩波書店、第一九巻附録、一九六二年、一～九頁

・「松本信廣教授将来のヴェトナム写本三種について—日本・中国の近代化とヴェトナム—」『史学』三五巻四号、一九六三年、九三～九六頁

・「現代中国の歴史的背景」『三田新聞』一九六三年四月一七日、二頁

・「東洋史研究の手引き(三)元・明・清代の部」『三色

旗』一八七号、一九六三年、二六～三四頁

・「研究の手引 歴史(二)—東洋史」慶應義塾大学通信教育部教材、一九六四年、一章～一章(二七～四二頁)

・「慶應義塾とベトナムの東京義塾」『三色旗』二〇七号、一九六五年、四～五頁

・「日本大儒福澤諭吉語録」について—中国革命と福澤先生—」『三田評論』六七〇号、一九六八年、四四～四九頁

・「学問のすゝめ」の中国訳本」『三色旗』二四五号、一九六八年、一八頁

・「ヴェトナム阮朝の没落—仏領インドシナ連邦形成への歩み—」『日本と世界の歴史』一九巻、学習研究社、一九七一年、二二八～二三二頁

・「越南輯略」について—清末のベトナム研究書—」『東南アジア史学会会報』一五号、一九七一年、五～六頁

・「中国人のものの考え方」(石川忠雄・村松暎との鼎談)『三色旗』三〇三号、一九七三年、七～一六頁

・「ヴェトナム諸王朝」西嶋定生等編『世界歴史の基礎知識(1)』有斐閣、一九七七年、二六二～二六三頁

・「長沙で観た湖南花鼓戯『十五貫』」「中国の春―日本青壮年中国研究者訪中団の記録―」東海大学東洋史研究室、一九七八年、二二二―二五頁

・「東洋史学と私―古稀の思い出―」『和田博徳教授古稀記念 明清時代の法と社会』汲古書院、一九九三年、七二一―七二三頁

・「恭親王の満洲名と常勝軍司令官ワルド―福沢諭吉と中国―」『福澤手帖』二七、一九八〇年、一―五頁

【研究余滴】

・「新刻古今玄機消長八譜」『塾』一〇七号、一九八一年、裏表紙見返し

・「義和団の源流―乾隆年間の義和拳と白蓮教―」『史学』四七卷三号、一九七六年、六二頁

・「邪馬台国東遷説の主唱者・和田清」『季刊邪馬台国』一六号、一九八三年、一二四―一三三頁

・「清代における佃戸の田租減免率」『史学』四七卷四号、一九七六年、二四頁

・「東洋史―中国文明の特色―」『三色旗』四二八号、一九八三年、二八―三〇頁

・「清代の土官と宦官」『史学』四八卷三号、一九七七年、四二頁

・「清代の『封贈誥命』」『塾』一二七号、一九八四年、裏表紙見返し

・「明代の都掌蛮と銅鼓」『史学』四八卷四号、一九七八年、七八頁

・「卒業論文の創作と剽窃―漢籍の選述―」『慶應義塾大 学報』一六七号、一九八五年、二頁

・「元末の群雄とベトナム―陳友諒・朱元璋に関する大越史記全書の記事―」『史学』四九卷一号、一九七九年、四四・六八頁

・「景印文淵閣四庫全書―東洋文化の一大宝庫―」『SCL 図書館情報』五号、一九八九年、一頁

・「広東新語・南越筆記と文字獄」『史学』四九卷二・三合併号、一九七九年、一四七―一四九頁

・「歴史上から見た中国文化の特色」『フォーラム人文』一号、一九九〇年、三―九頁

・「康有為の犬養毅（木堂）宛書簡―近代日中関係の新材料―」『史学』四九卷四号、一九八〇年、一一八・一二六頁

・「人文学（哲学・史学）についての管見」『創価大学人文論集』三号、一九九一年、一―二頁

（重複）

・「科挙の冒籍について―明末の変革―」『歴史と地理』
五三六号、二〇〇〇年、三四―三五頁

【報告要旨】

- ・「明初の辺防について」『史学雑誌』六二編一二号、一
九五三年、七二―七三頁
- ・「西天阿難功德国と甘巴里国―明と Vijayanagar との
交渉」『史学雑誌』六三編一二号、一九五四年、七八
―七九頁
- ・「神器譜と西域土地人物略―明末の鉄砲伝来とオスマ
ン＝トルコ」『史学雑誌』六六編一二号、一九五七年、
七一―七三頁
- ・「清代の安南ビルマ銀」『史学雑誌』六八編一二号、一
九五九年、一〇〇頁
- ・「朝貢体制の本質―中国・ベトナムの邦交関係―」『東
洋文庫書報』八号、一九七六年、一一三―一一五頁
- ・「明代の匠官について」『史学雑誌』八六編一二号、一
九七七年、八九頁
- ・「明代の郷村支配と里社壇・郷厲壇」『史学雑誌』九一
編一二号、一九八二年、八三頁

【事典項目】

- ・「遠西奇器図説」『アジア歴史事典』第一卷、平凡社、
一九五九年、四二〇頁
- ・「火攻挈要」「火薬」「魏晉南北朝時代」『アジア歴史事
典』第二卷、平凡社、一九五九年、一五六、二二八―
二二九、三四九―三五二頁
- ・「仏郎機」『アジア歴史事典』第八卷、平凡社、一九六
一年、二〇頁
- ・「迷思耳」「東洋・西洋」『アジア歴史事典』第九卷、
平凡社、一九六二年、一六七、四一八頁

【博士学位請求論文審査要旨】

- ・家島彦一「イエメン・ラースール朝史に関する新写本と
その史料価値の分析」『史学』四六卷二号、一九七四
年、九九―一〇七頁
- ・尾崎康「正史宋元版の研究」『史学』五五卷一号、一
九八五年、一一―一二三頁
- ・浅井紀「明清時代民間宗教結社の研究」『史学』五七
卷二号、一九八七年、一六五―一六八頁